

28. 当院における高気圧酸素治療10年間の成績

千葉博史 中村昭弘 千葉 誠
千葉 聡 千葉咲子

(関東病院)

当院では平成元年四月より、羽生田鉄互所製第一種高気圧酸素治療装置 (KS-202型) を導入し、各種疾患に使用してきた。

全症例660例, 8,700回の治療の内訳は、脳出血、梗塞等の脳血管障害が228症例と最も多く、ついで腸閉塞165例, 急性心筋梗塞57例, ショック47例といった疾患が主たる治療疾患であった。

当院は90床規模の一般病院であり、その日常診療の中で10年に渡り活用してきた高気圧酸素治療の成績を、統計的手法を用いて分析したので報告する。

29. 当院における高気圧治療装置の利用状況

高尾勝浩 川島真人 田村裕昭
吉田公博

(医療法人玄真堂川島整形外科病院)

1981年6月～1998年5月までの17年間の高気圧治療装置 (以下、高気圧治療装置を装置と略) の利用状況について報告する。

1981年6月に第1種装置を導入し、1984年12月に第2種装置に入れ替えた。さらに、1989年12月に2基目の第2種装置を追加導入して現在に至る。装置は、いずれも中村鐵工所製である。

症例は、救急的適応1,067例と非救急的適応1,969例の計3,036例であった。延べ治療回数は、救急的適応2,701回と非救急的適応106,810回の計109,511回であった。

疾患別では、急性脳梗塞や骨髄炎、減圧症、脊髄神経疾患、閉塞性動脈硬化症、難治性潰瘍、広範囲圧挫減創、突発性難聴、陳旧性脳血管障害、急性脊髄障害、バージャー氏病、静脈血栓症、ガス壊疽、熱傷、急性動脈血栓症、皮膚移植術後などに応用した。